理研ビタミン株式会社

個人投資家の皆さまへ

2026年10月9日

理研ビタミン株式会社（4526）

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれます。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。実際の業績などは今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 歴史と理念

4. 中計2027と進捗

5. 株主還元・IR

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

東証プライム市場上場の食品メーカー

商号	理研ビタミン株式会社
設立年月	1949年８月
資本金	25億3,700万円
連結売上高	963億円
従業員数	1,016名（連結1,887名）
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン類などの製造・販売
拠点数	国内12（本社、さいたまオフィス、支店5、工場5）
連結子会社	国内4、海外12

（2026年3月末現在）

本社外観（UR都市機構提供）

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

家庭用商品

理研ビタミン株式会社

●ロングセラー商品

●ここ数年の新発売商品

数量限定

2022年から3年連続で
食品ヒット大賞 優秀ヒット賞を受賞

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

マレーシアやドイツの立ち上げなど、長らく海外事業をけん引

代表取締役社長　望月（もちづき） 敦（つとむ）

【略歴】

1962年3月	東京都生まれ
1985年3月	東京水産大学（現：東京海洋大学）卒業
同　4月	理研ビタミン 入社
2004年1月	Riken Vitamin Europe GmbH 社長
2022年6月	当社 取締役
2023年6月	当社 常務取締役
2025年6月	当社 代表取締役社長

望月から皆さまへの
ビデオメッセージをご覧ください

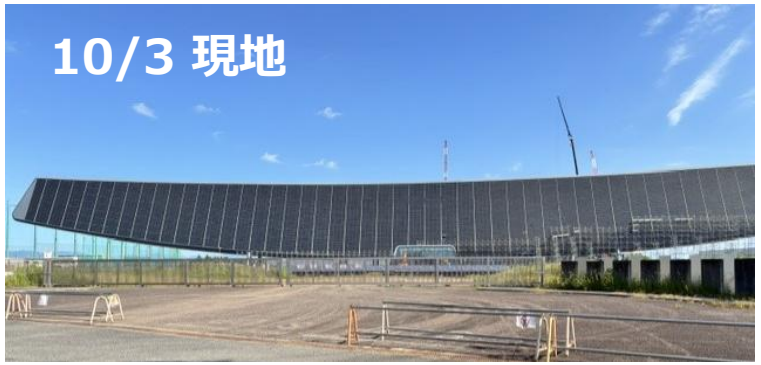
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

名古屋とのつながり

理研ビタミン株式会社

岐阜県安八郡安八町

- 京都工場の移転を前提に、新工場用地として取得
- 2030年度の新工場稼働を目指す



名古屋支店

- 1967年開設　現所在地は中区栄
- 中部地方の顧客への営業と受注を担当

中華百選®
名古屋味 マボちゃん®
台湾麻婆用

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

名古屋でこんなことも

理研ビタミン株式会社

2026.06.05　中日ドラゴンズ
リケンのノンオイル青じそDAY 開催

©中日ドラゴンズ

背番号は「青じそ」…？

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 歴史と理念

4. 中計2027と進捗

5. 株主還元・IR

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

製品分野と主要製品群

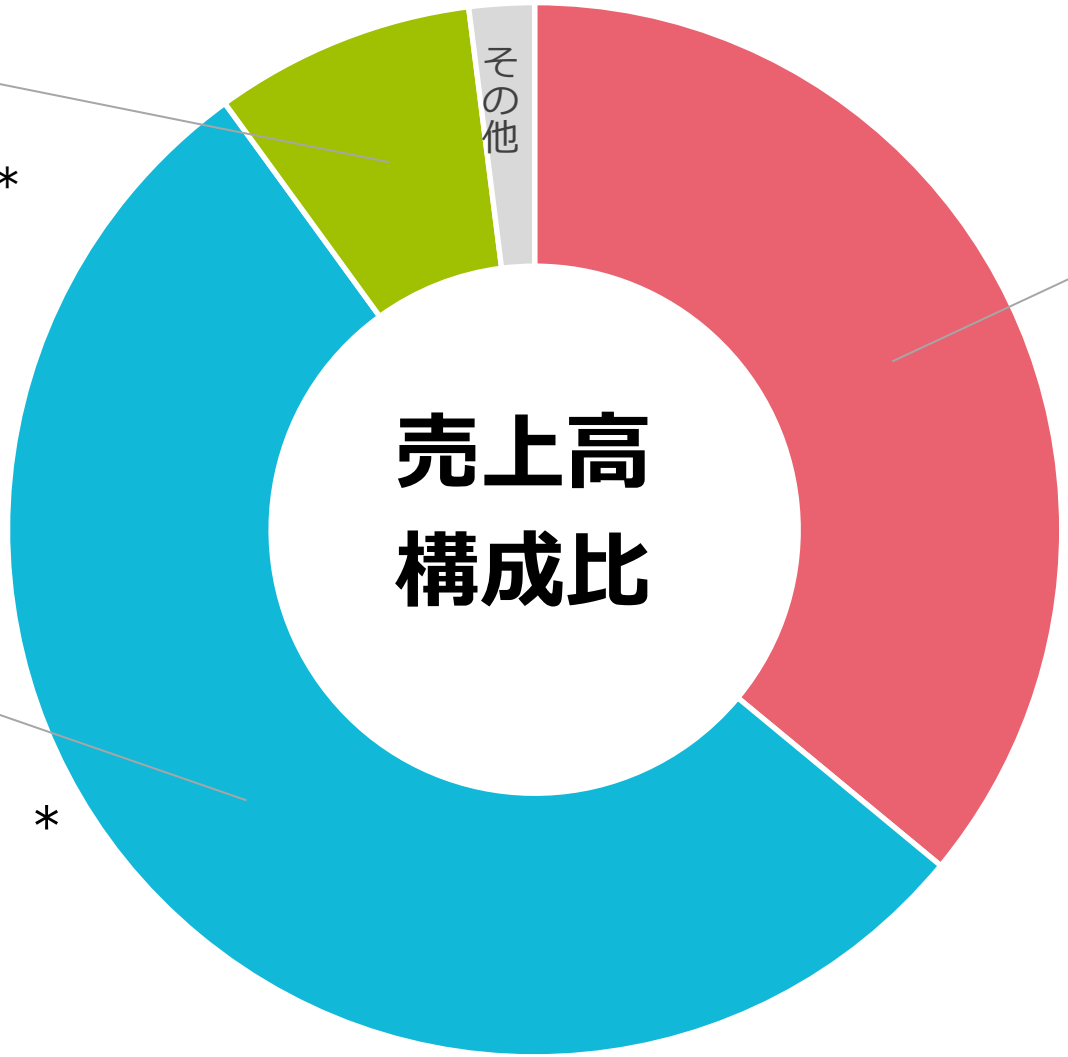
理研ビタミン株式会社

ヘルスケア

- ビタミン（栄養強化）＊
- 機能性食品用原料
- マイクロカプセル

食品

- エキス・調味料
- 海藻



改良剤

- 乳化剤
- ビタミン（酸化防止）＊
- 色素

＊ビタミンは用途別に実績が分けられないため、用途に関わらずヘルスケア分野の売上に含みます。

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

エキス・調味料、海藻類、ドレッシング

食品

ノンオイル
ドレッシング
シェアNo.1

インスタント
わかめスープ
シェアNo.1

ほたてエキス
シェアNo.1

家庭用国産
乾燥わかめ
シェアNo.1

スーパーなど向け

家庭用商品

外食産業・学校給食・産業給食向け

大容量品や家庭用にはない商品群をラインナップ

加工食品メーカー・コンビニ向け

ニーズに合わせ、調味料などを原料として供給

ラーメンスープ

スナックシーズニング

おにぎり用わかめ

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

乳化剤、ビタミン（酸化防止用）、色素など

改良剤

加工食品メーカー向け

クチナシ黄色素の使用例：中華麺の色付け

ビタミンE（酸化防止用）の使用例

→乳化剤って？

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

乳化剤について①

乳化とは、水と油のように
本来混ざりあわないものが
均一に混合している状態のこと

水に油を入れても
分離して混ざりません。

牛乳は、水と油が
均一に混合して
乳化している状態です。

たんぱく質が「仲介役」

水に油が分散する
だけでなく、逆に油に
水が分散している
食品もあります。

マヨネーズ、
生クリームなど

バター、
マーガリンなど

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

乳化剤について②

理研ビタミン株式会社

乳化剤とは、乳化を容易にしたり
乳化を安定に保つ効果を持つ物質

■ 乳化剤の機能の例

- 乳化安定
- 起泡
- 消泡
- 食感改良
- 分散
- 老化抑制

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

乳化剤が使われている食品の例

理研ビタミン株式会社

パン

ケーキ

ソフトクリーム

粉末飲料

ガム

麺

豆腐

ミルク入り飲料

特設サイト WHAT'S 乳化剤　乳化剤のしくみとはたらき

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

食品用改良剤の知見をプラスチックなどに応用

食品用包装材向け

- ラップなどの曇りを防止
- 静電気を抑制
- 硬い樹脂をやわらかくし、成型加工しやすく

自動車部品向け

- 静電気を抑制し、電子機器の不具合を防止
- 成型加工時に金型から離れやすく

建築資材向け

- 押し出し成型時の滑りを改善

化粧品・トイレタリー製品向け

- クレンジング剤の洗浄力アップ
- ハンドソープの増粘

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

ビタミン（栄養強化）、機能性食品用原料、マイクロカプセル

ヘルスケア

ビタミンE

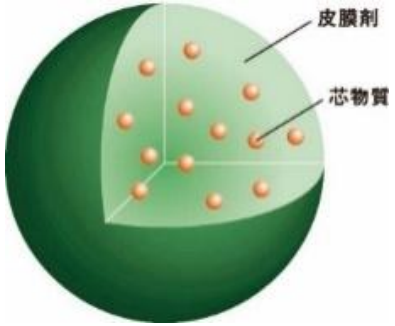
シェア40%以上

クロセチン

成長中

食品・健康食品・医薬品メーカー向け

機能性成分の供給や加工を通じて健康に貢献



ビタミンE（栄養強化）

- 医薬品、健康食品

ビタミンミックス

- 栄養補助食品
- 完全栄養食

機能性食品用原料

- 海藻や色素などから有効成分を抽出・精製・濃縮

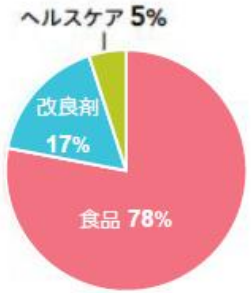
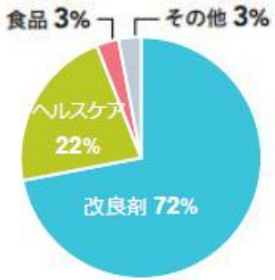
マイクロカプセル

- 有効成分の安定性向上
- 香りの保持

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

各セグメントの主な販売製品と製品分野別売上構成

理研ビタミン株式会社

	国内食品事業			国内化成品その他事業	海外事業
	家庭用食品	業務用食品	加工食品用原料等		
主な販売製品	●リケンのノンオイル ●ふえるわかめちゃん® ●わかめスープ ●素材力だし®	●エキス・調味料 ●海藻類 ●ドレッシング ●食品用改良剤 ●ビタミン	●食品用改良剤 ●ビタミン ●機能性食品用原料 ●マイクロカプセル	●化成品用改良剤 ●飼料用添加物	●食品用改良剤 ●化成品用改良剤 ●エキス・調味料
製品分野別売上構成比※					
主な販売先	●スーパーマーケット ●ドラッグストア	●産業給食 ●学校給食 ●外食産業 ●コンビニエンスストア ●加工食品メーカー	●加工食品メーカー ●健康食品メーカー ●医薬品メーカー	●化成品メーカー	●海外加工食品メーカー ●海外化成品メーカー ●海外外食産業

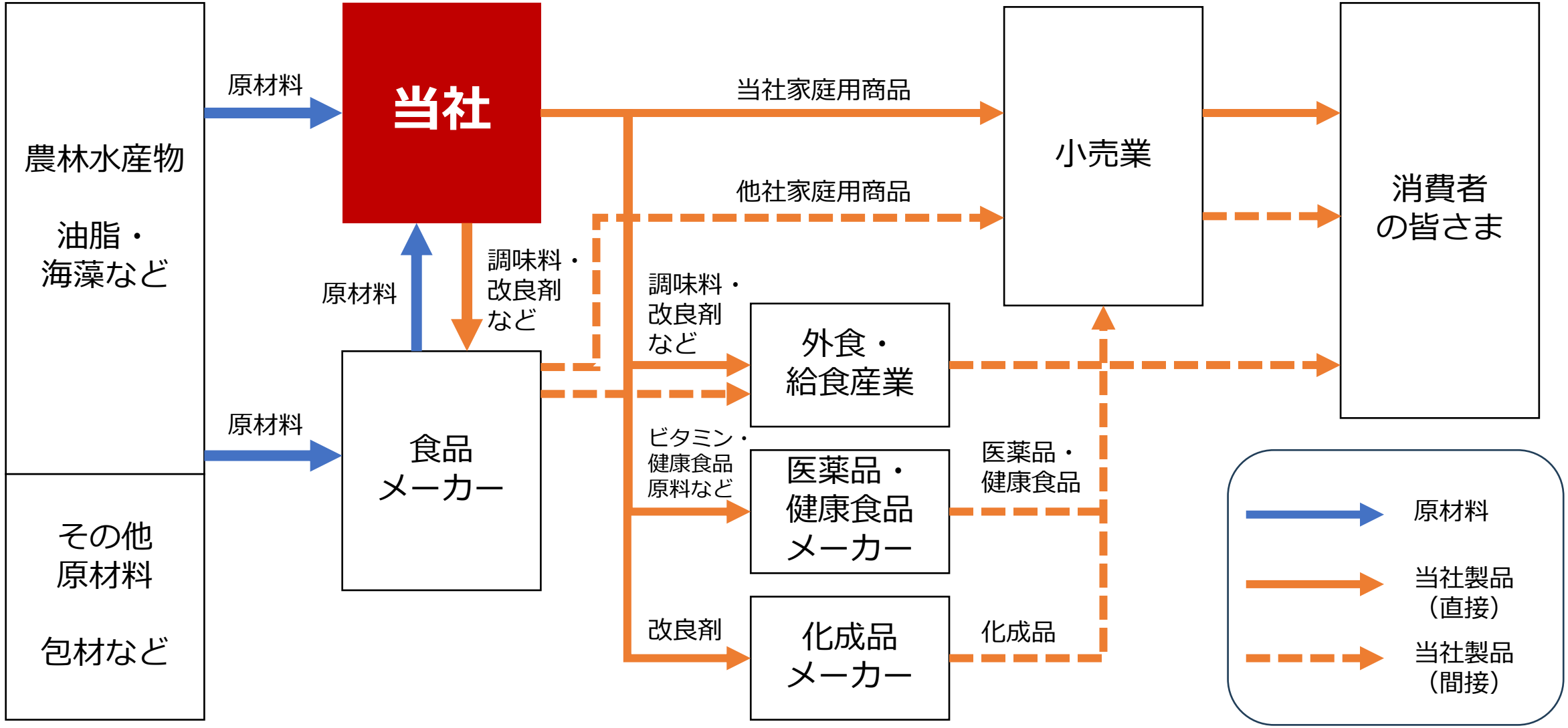
※ビタミンは用途にかかわらずヘルスケア分野の売上に含めています。

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

国内サプライチェーンにおける当社の位置

理研ビタミン株式会社

※卸売業などを省略し、簡略化しています

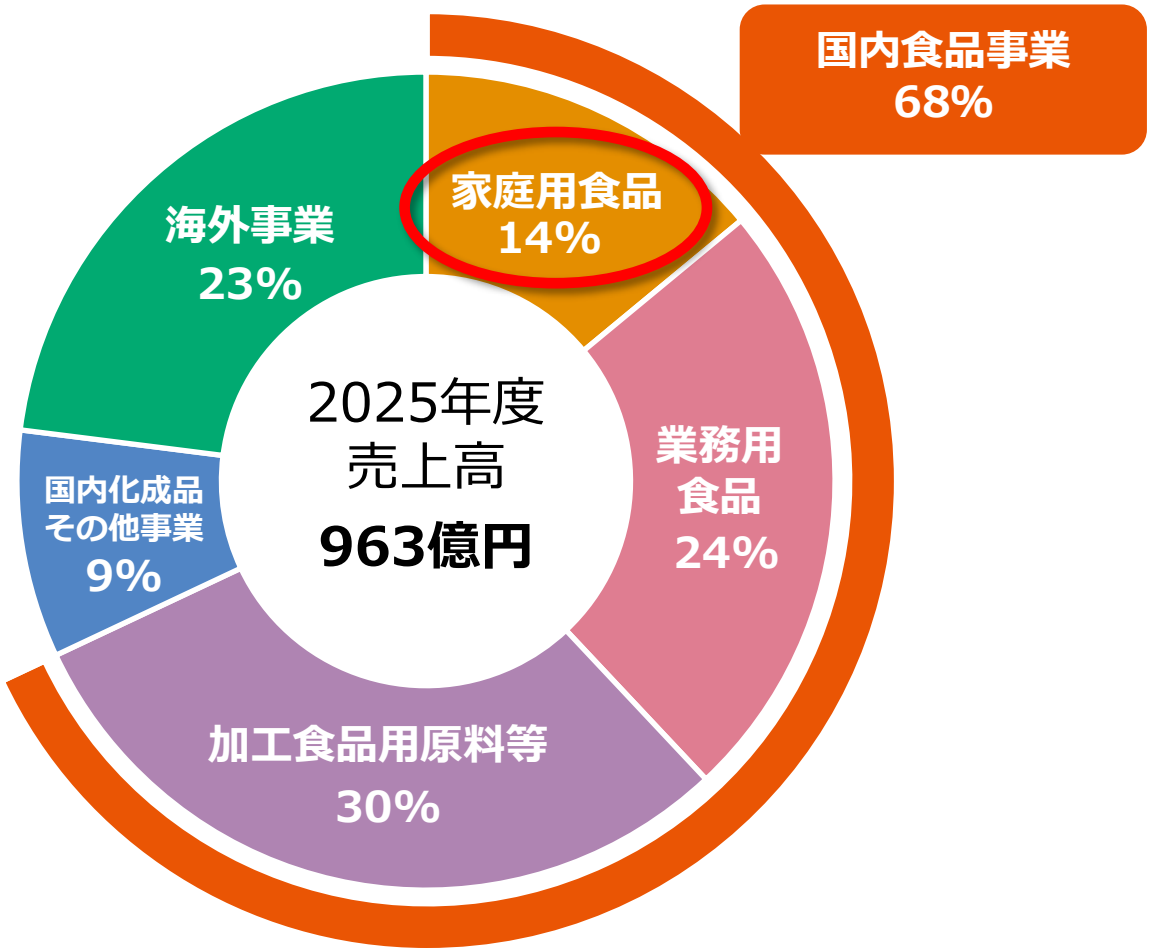


Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

BtoBが8割以上、海外売上高は約4分の1

セグメント	主な販売先
国内食品事業	
家庭用食品	• スーパーマーケット • ドラッグストア
業務用食品	• 産業給食・学校給食 • 外食産業 • コンビニエンスストア • 加工食品メーカー
加工食品用原料等	• 加工食品メーカー • 健康食品メーカー • 医薬品メーカー
国内化成品その他事業	• 化成品メーカー
海外事業	• 海外加工食品メーカー • 海外化成品メーカー • 海外外食産業



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 歴史と理念

4. 中計2027と進捗

5. 株主還元・IR

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

理化学研究所の天然ビタミンA事業が原点

▲ビタミンA製品のポスター

- 戦前、理化学研究所が研究成果を製品化する事業会社を多数設立
- その一社から天然ビタミンA事業を引き継ぎ理研ビタミン油㈱※を設立（1949年）

※1980年、理研ビタミン㈱に社名変更

設立当初は

天然ビタミンAメーカー

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

魚の内臓からビタミンAを抽出・精製・濃縮

タラ・スケソウダラなど

魚の内臓

＝

従来は捨てられていたもの

抽出
精製

ビタミンAを含む油
（ビタミン油）

濃縮

濃縮ビタミンA油

加工

ビタミンA製品

＝

社会に貢献するもの

天然物の有効利用

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

合成ビタミンAの台頭により多角化路線へ

1950年代

海外メーカー

合成ビタミンAの
量産に成功

大量 **安価**

事業継続の危機

天然ビタミンA事業で培ったもの

- **有効成分の抽出・精製・濃縮技術**
- **水産関係者との人脈**
- **ビタミンに関する知見**

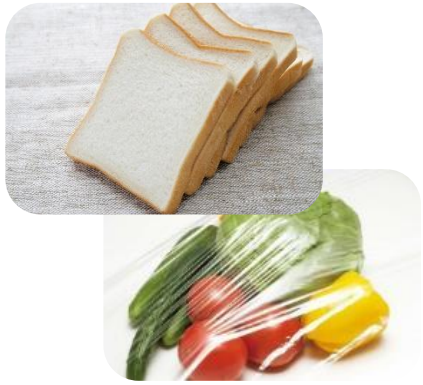
これらを活かして新規事業を模索

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

天然物の有効利用と独自の技術で多角化

改良剤



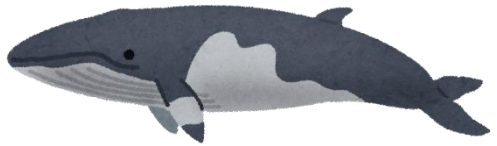
大阪工場で高純度の乳化剤「蒸留モノグリセライド」の量産を実現（日本初）

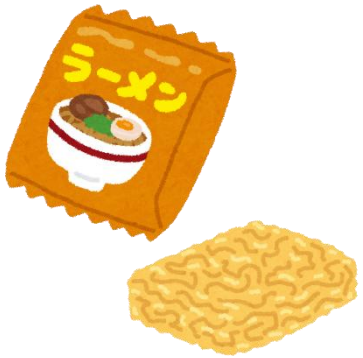
分子蒸留技術※

※ビタミンAの精製・濃縮技術

- 多くの用途を開発
- 化成品に応用
- 多様な改良剤へ

食品





- 商業捕鯨が盛ん
- 鯨肉の加工後に残った肉をエキスに利用

即席麺のスープ

抽出・精製・濃縮技術

魚の内臓

ビタミンA

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

ビタミンAの原料調達で培った人脈が起点

1 ビタミンAの原料調達で水産関係の人脈構築

- ビタミンAの原料となる魚の内臓の調達のため各地の漁港を行脚
- 人脈や情報網を構築

2 わかめ養殖技術の普及に関する情報を得る

- 1950～60年代にわかめの養殖技術が確立
- 水産庁の奨励もあり各地で徐々に養殖が普及

3 養殖わかめの全国販売を開始

生わかめ「わかめちゃん®」(1965年)

「ふえるわかめちゃん®」(1976年)
(発売当時の商品名は「ふえるわかめ」)

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

海藻サラダの添付調味料を商品化

1 海藻サラダに青じそ風味のタレを添付

「生海草サラダ」(1986年)

2 お客さまから大好評「このタレを売ってほしい」

テスト販売品

発売当時のボトル

「ノンオイルスーパードレッシング
青じそ」(1989年)

3 ノンオイルならではの汎用性でブランド確立

現行品

2010年 ブランド名変更
「ノンオイルスーパードレッシング」
⇒**「リケンのノンオイル」**

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミンの理念

理研ビタミン株式会社

企業理念

天然物の有効利用を図る技術と商品で、
人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する

創業当時

現在

食品事業

改良剤事業

ヘルスケア事業

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

当社を象徴する数字

理研ビタミン株式会社

売上高研究開発費率

4.1%

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 歴史と理念

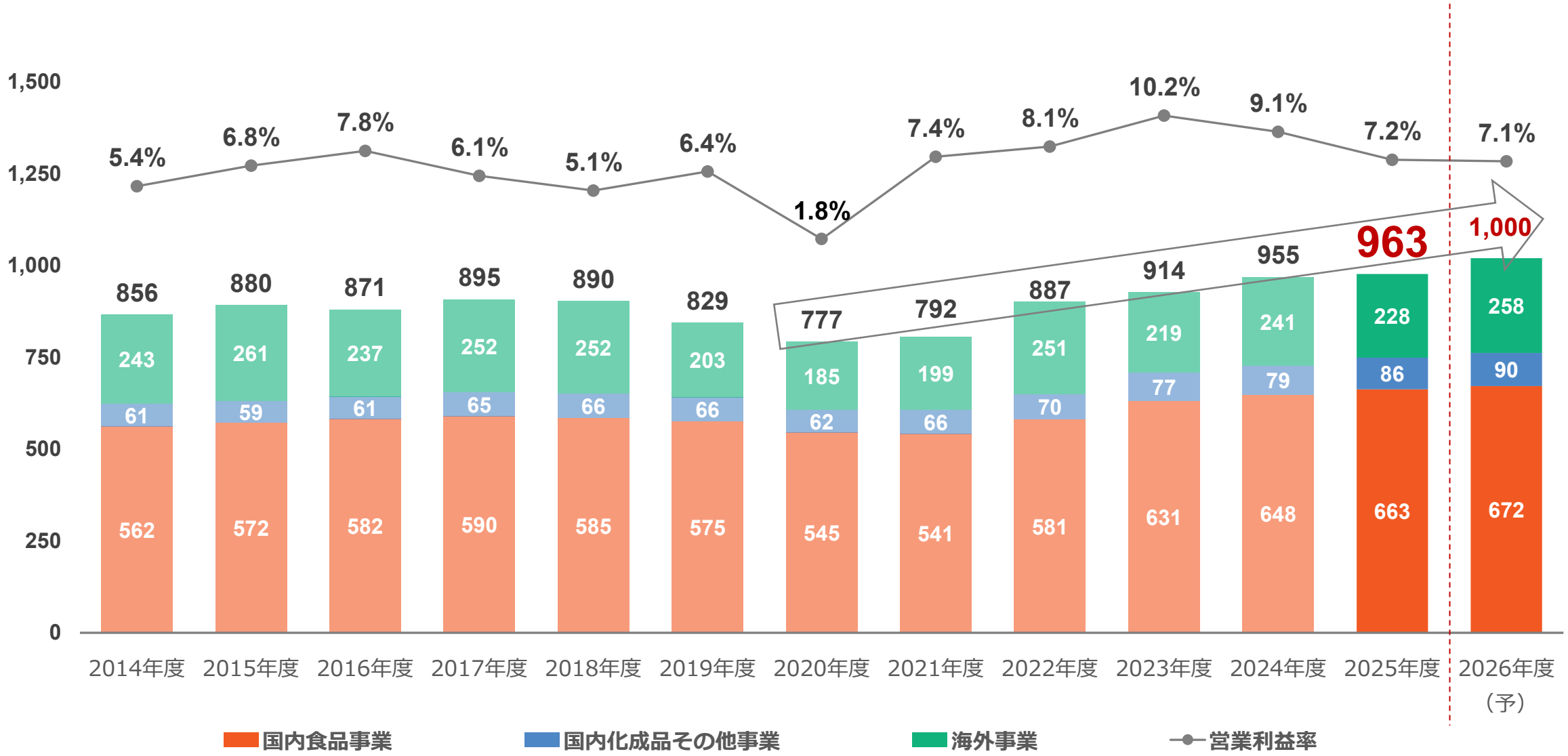
4. 中計2027と進捗

5. 株主還元・IR

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

売上高・連結営業利益率推移

理研ビタミン株式会社



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

環境課題、社会課題の解決が成長につながる

人口の変化

日本は人口減・高齢化、
世界人口は増加

ライフスタイルの変化

加工食品市場はゆるやかに拡大

気候の変化

原材料調達リスク・
自然災害リスクの増加

不確実性の高まり

将来の予測がますます困難に

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

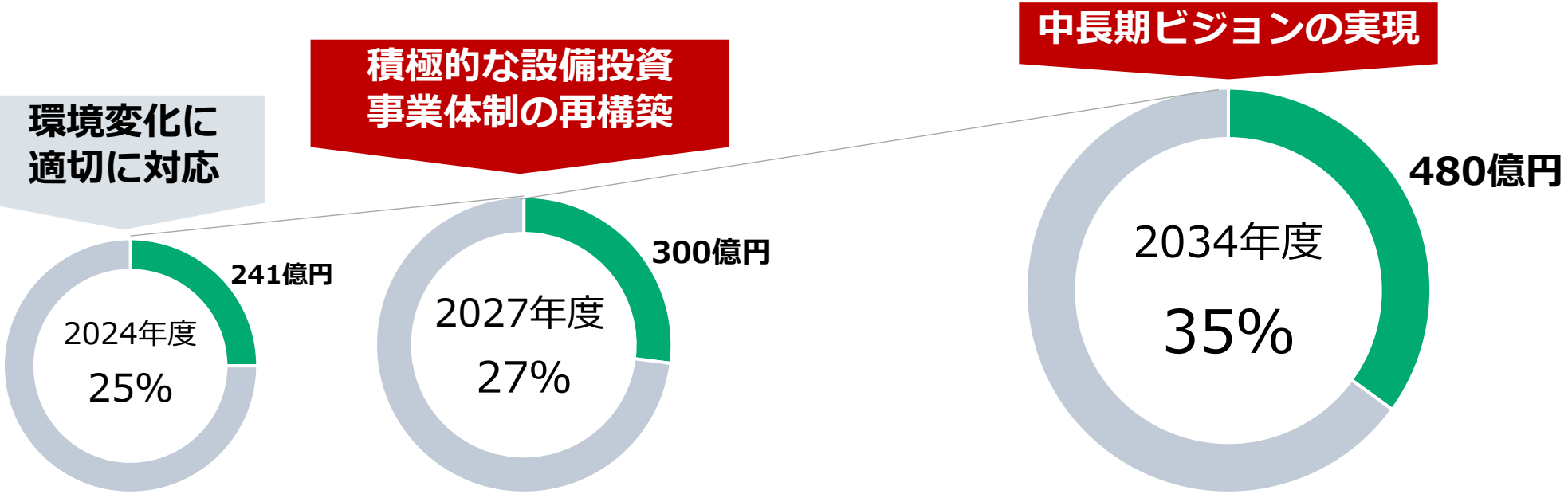
人口の変化に対応して事業体制を再構築し、持続的に成長する

環境変化に
適切に対応

積極的な設備投資
事業体制の再構築

中長期ビジョンの実現

海外売上高比率



売上高	955億円	**1,100億円**	**1,350億円**
営業利益	87億円	**100億円**	**135億円**
ROE	12.1%	**10%以上**	**10～12%**
設備投資額	104億円	**250億円＋α**	

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

営業CFと政策保有縮減の資金で、積極投資と還元強化

キャッシュイン

営業キャッシュ・フロー
280億円

政策保有株式の縮減
90億円

現預金の活用

負債の活用

キャッシュアウト

設備投資
250億円

株主還元
124億円～

戦略投資

- ✓ 純資産比率10%未満目標
- ✓ 自己資本比率60～65%目安

- ✓ 海外投資120億円
- ✓ 国内投資130億円

26年度
自己株取得
＋20億円

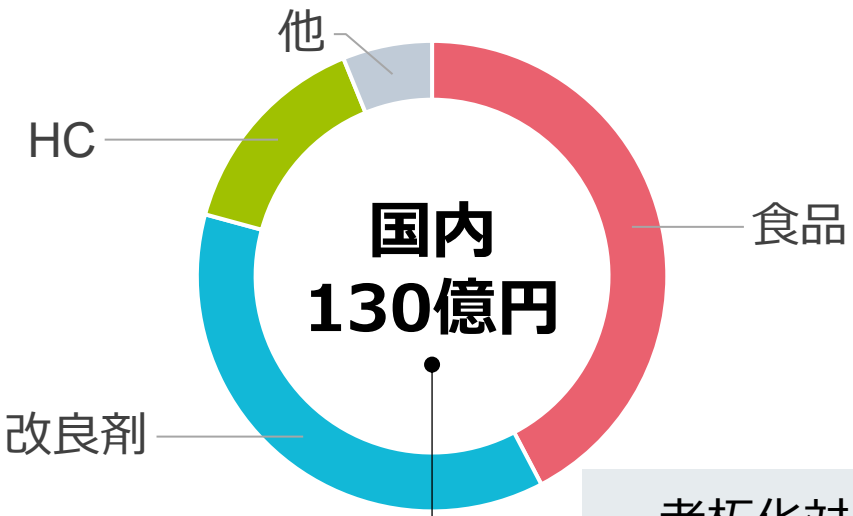
- ✓ 配当性向40%以上
- ✓ 機動的な自己株式取得

- ✓ アライアンス、M&A、新規事業

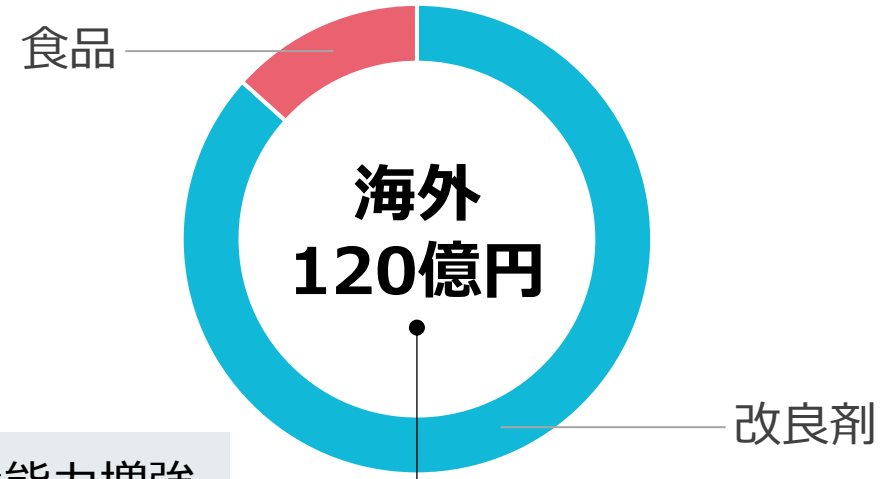
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

国内の基盤投資、海外の成長投資で最適生産体制構築を図る



老朽化対応
生産性向上
省人化



生産能力増強
効率化
省人化

製品分野別
（億円）

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

海外事業の損失や資産除去債務増加の影響で利益減

（百万円）	2024年度	2025年度	増減額	増減率	期初予想
売上高	95,582	**96,300**	＋717	＋0.8%	100,000
営業利益	8,724	**6,900**	▲1,823	▲20.9%	8,500
営業利益率	9.1%	**7.2%**	▲1.9pt		8.5%
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	11,928	**11,578**	▲349	▲2.9%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	9,388	**7,035**	▲2,352	▲25.1%	8,200
ROE	12.1%	**8.7%**	▲3.4pt		10.2%

為替影響額：売上高+357百万円、営業利益▲33百万円
期中平均レート：2024年度 152円/$、2025年度 151円/$

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

各セグメント　中計2027進捗

理研ビタミン株式会社

国内食品事業

戦略

- 人口減少に伴う市場変化、原料事情や人手不足に伴うコスト増に対応
- 加工食品市場の動きに影響を受けるが、市場全体より少し高い伸び率を目指す

進捗

- 各サブセグメントで増収。業務用食品での新規需要獲得や加工食品用原料等の機能性食品原料の販売伸長が寄与。
- 労務費や減価償却費などの増加および、アスベスト除去費用に関する資産除去債務の見積もり変更の影響もあり、減益。

今後の方針

利益確保に向けたアプローチを強化

国内化成品その他事業

戦略

- 化成品の国内市場縮小に対応し、得意分野に絞り込んだ市場の深掘り
- 海外展開する日系企業への提案強化

進捗

- 新規テーマの実績化などにより増収。農業用フィルムでの環境対応品の採用増加や、食品用包材への実績拡大が寄与。
- 原材料価格の上昇に対し価格改定の効果が十分に及ばず、減益。

今後の方針

予定していた価格改定に加え、
予定外の原料高騰にも速やかに対応

海外事業

戦略

- 将来の加工食品市場拡大を念頭に、成長投資と新体制構築
- 東南アジア・中国・北米におけるエリア別拡大戦略に注力

進捗

- 北米では大手ベーカリー向けの高付加価値品の取引拡大に加え、ポークエキスの販売も好調に推移。
- 中国では消費低迷の影響を受けて販売数量の落ち込みが続いたほか、ヨーロッパや東南アジアでは汎用品において競合との価格競争が激化により減収。減収の影響と、人件費の増加により営業損失。

今後の方針

コストダウンを行い、汎用品の数量を確保
中長期のスペシャリティ品拡大に向け投資を推進

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

国内基盤投資の状況

理研ビタミン株式会社

東京工場
ビタミンMix棟

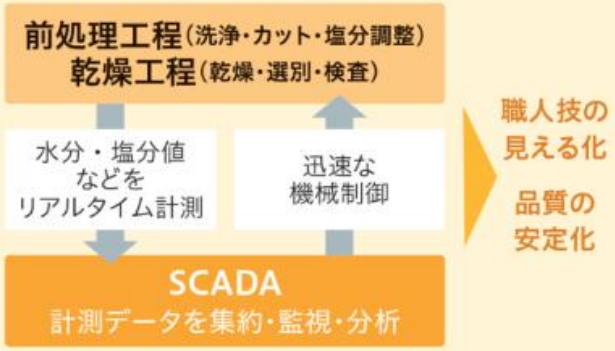
高齢化進行や健康意識の高まりによる
ビタミンの需要増加に対応
2025年度新設

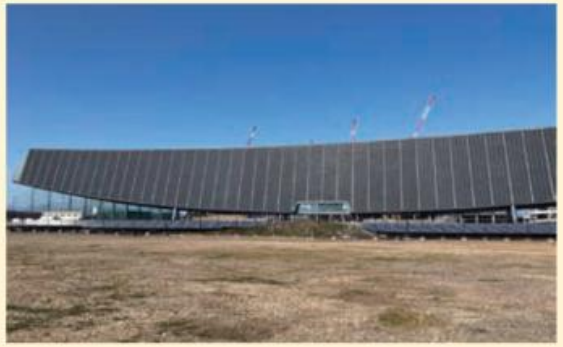
化成品新研究開発拠点
Material Nexus Lab（仮称）

研究開発機能を集約し、
技術者間のコラボレーションを促進
2028年度稼働予定

理研食品 監視制御システム（SCADA）導入

2026年度
「ふえるわかめちゃん®」の生産効率向上





岐阜県安八町に
新工場用地を取得

天然色素や健康食品原料の生産能力拡大
2030年度の稼働目指す

大阪工場
パレタイザー導入

2026年度
天井の低い建屋内での
製品パレット積みを自動化

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

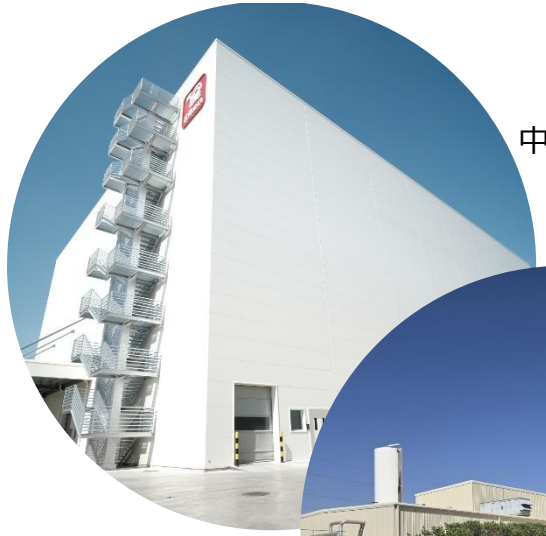
海外事業強化の取り組み

理研ビタミン株式会社

日本

グローバル人財の育成	知見の共有	バックオフィス業務の支援強化
営業 開発 生産	開発 生産	品質保証 総務経理 知的財産 等

	2025	2027	2034
生産能力の拡大	●中国改良剤工場の新設		
	●ベトナムでの現地生産開始	東南アジア他国での横展開	
	●北米エキス生産能力増強	追加の増強も検討	
	●マレーシアの新工場投資		
営業・開発拠点の拡充		北米生産拠点検討	
	●タイ・ベトナム拠点の新設	東南アジア他国での横展開	
	●シンガポール拠点の再編		
	●北米拠点の移転・拡充		



中国新工場

北米エキス工場

リケビタ・タイランド

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

持続可能な社会を支える取り組み例：食品

理研ビタミン株式会社

海藻の種苗や陸上養殖、ブルーカーボンなど多面的に研究

わかめの種苗（独自方式）

海藻の陸上養殖施設「陸前高田ベース」

昆布の養殖試験（ブルーカーボン関連）

今の事業を支える研究 → 将来の成長につながる研究

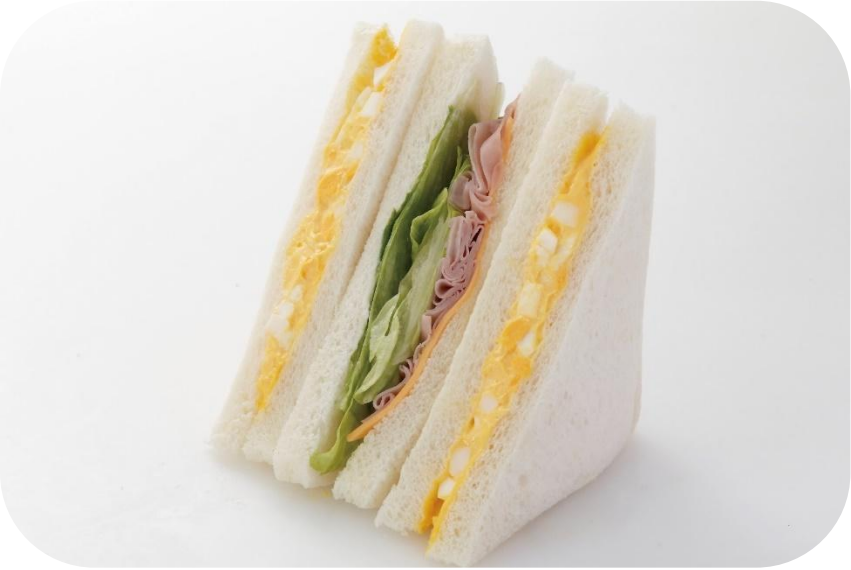
時間軸

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

フードロス削減や環境対応に貢献

食品用改良剤



- 時間が経ってもおいしさをキープ
  ▶ 流通後のロス削減
- 生産効率の改善（型崩れ防止、製造設備への付着防止など）
  ▶ 生産工程でのロス削減

化成品用改良剤

- 植物由来成分で石油由来成分を代替
- バイオマスプラ、生分解性プラ向けの改良剤を開発・提案

▼

サーキュラーエコノミー実現に貢献

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 歴史と理念

4. 中計2027と進捗

5. 株主還元・IR

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

前期に連結配当性向の目安を引き上げ

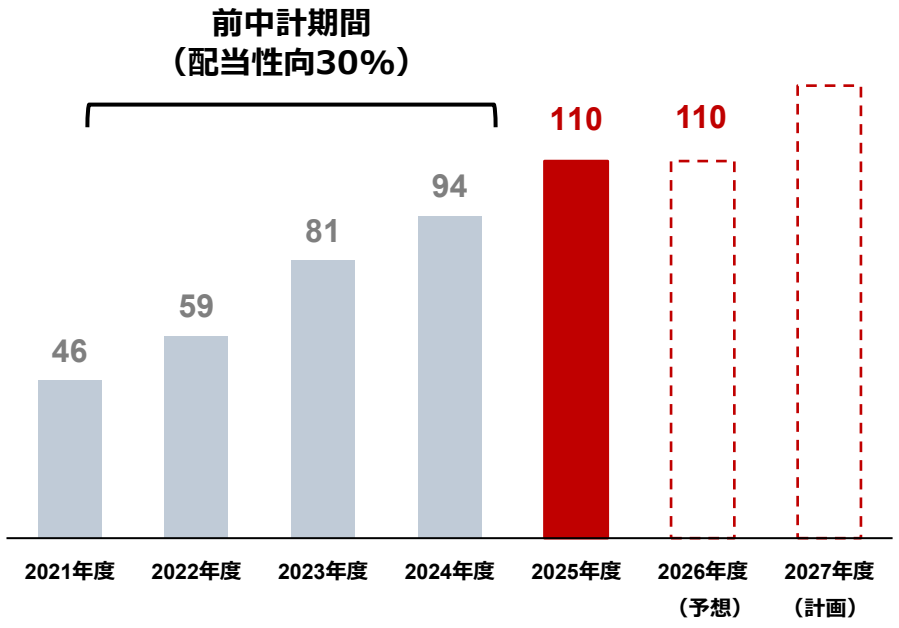
■ 配当方針

連結配当性向 40%以上を目安に
安定配当を継続

■ 自己株式の取得

適切な局面で機動的に実施
2025年度に続き2026年度も20億円取得済

■ 1株当たり配当金(円) の推移



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度（予想）
自己株式取得額（億円）			63	11	20	20

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

保有株式数・保有期間に応じて自社商品を贈呈

- 贈呈回数は**年2回**
- 保有株式数および保有期間に応じて株主優待品がランクアップ

基準日	発送時期（予定）
3月31日	7月
9月30日	1月

2,000円相当の商品例

■ 保有株式数・保有期間の基準

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株以上、500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上、3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上	4,000円相当	5,000円相当

条件の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

セクター内比較でROEは高く、PERが低い

PBR	=	ROE	×	PER(予)
1.08倍		8.7%		12倍
プライム食料品中央値*	1.2倍前後	7.5%前後		16倍前後

*2026年9月末時点 当社集計

期待値が低い要因：投資家との面談で指摘される事柄

- 国内市場の成長性
- 海外事業のボラティリティ
- 保守的なガイダンス
- BSマネジメント
- 株式の流動性
- 時価総額

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

EPS成長・ROEの維持とIR活動により、期待成長率を上げていく

- 事業戦略
- 財務戦略
- 非財務戦略
- IR

▶

EPS成長
- 中長期で稼ぐ力の向上
- 機動的な自己株式取得

PER向上
- 開示・対話の充実
- ガバナンスの高度化

ROE維持
- 収益性の向上
- BSマネジメント

配当
- 配当性向40%

▶

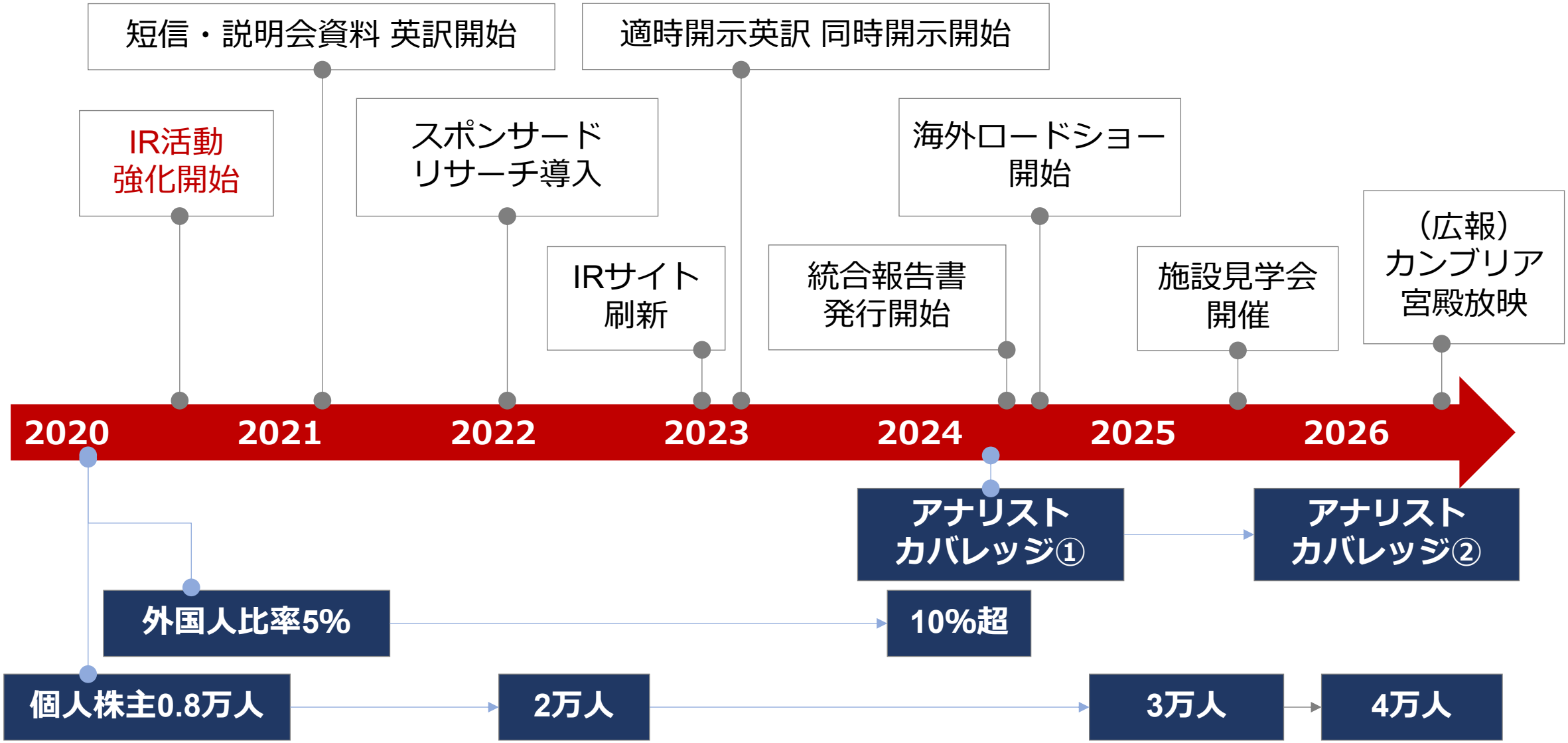
目指す企業価値の目安

まずは
時価総額
1,000億円

PBR
安定的に1倍超

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

IR活動強化の推移



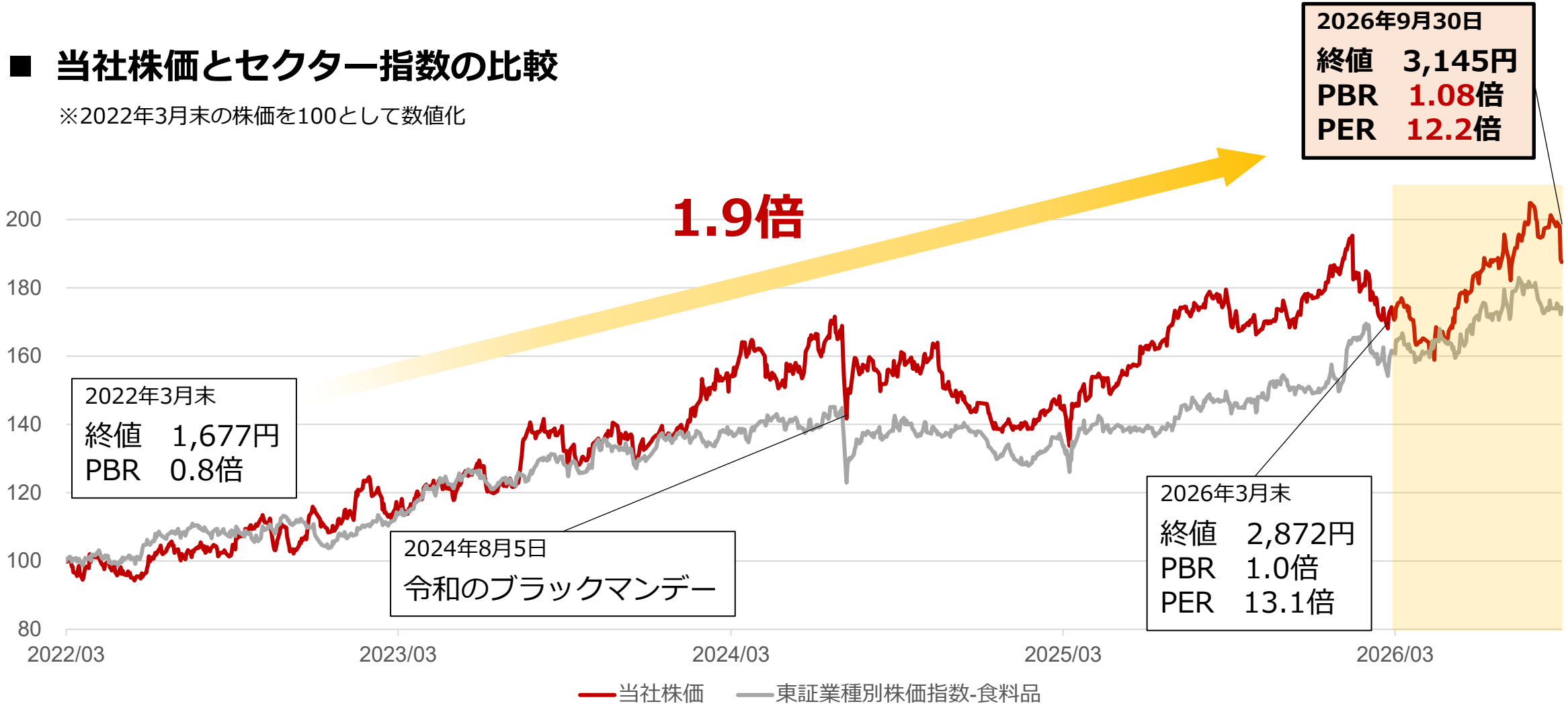
Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

前中計開始前と比べて株価は上昇

■ 当社株価とセクター指数の比較

※2022年3月末の株価を100として数値化



Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

今日お伝えしたいことのまとめ

理研ビタミン株式会社

- ✓ 理研ビタミンはBtoCで知られるが、改良剤を中心としたBtoBの売上が大きい
- ✓ 研究開発型企業。天然ビタミンAを出発点とし、天然物の有効利用と独自の技術で差別化された価値を提供
- ✓ 国内を基盤としつつ、海外での成長を目指している
- ✓ 海藻養殖やフードロス削減などサステナビリティ課題にも対応

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

【理研ビタミンの中長期ビジョン】

持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え、
成長する会社になる

理研ビタミン株式会社

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

補足資料

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

理研ビタミン株式会社

分野ごとに競合は異なる

食品

- 国内の調味料メーカー
- 国内の乾物メーカー

改良剤

- 国内外の油脂メーカー
- 国内外の化学メーカー

ヘルスケア

- 国内外の化学メーカー
- 国内の健康食品原料メーカー

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.

安定供給を最優先、コストアップには価格改定で対応

	主なリスク要因	対応の方向性
生産への影響	• エネルギー費の上昇	• 効率的な生産活動
原材料調達への影響	• 包材および副資材価格の上昇・調達懸念 • バイオディーゼルとの競合による植物油価格の上昇	• 特にBtoBでは安定供給を最優先に、包材の変更などについて取引先と緊密に連携 • 自助努力を超えるコストアップに対しては機動的に価格改定
安定供給への影響	• サプライチェーン上での問題発生に伴う供給の目詰まり • 物流費高騰と海外での配送遅延	• 取引先との緊密な連携 • 輸送費の転嫁と輸送手段の確保
研究開発への影響	• 取引先の製品開発停滞に伴う当社の提案機会減少	• 再開に備えた提案力強化

Copyright © 2026 Riken Vitamin Co., Ltd.